

6.9.1 フィルターダイアログ

フィルターダイアログは、カスタムレポートのためにフィルター式を設定するために利用されます。GMDH Streamlineでは、非常に強力なフィルター式が作成できます。**すべての品目** レポートにある列は、どの列でもフィルターに利用できます、また、1つのフィルター文の中では複数のオプションが利用できます。最大12個のフィルター文を持つ複合式を作成できます。

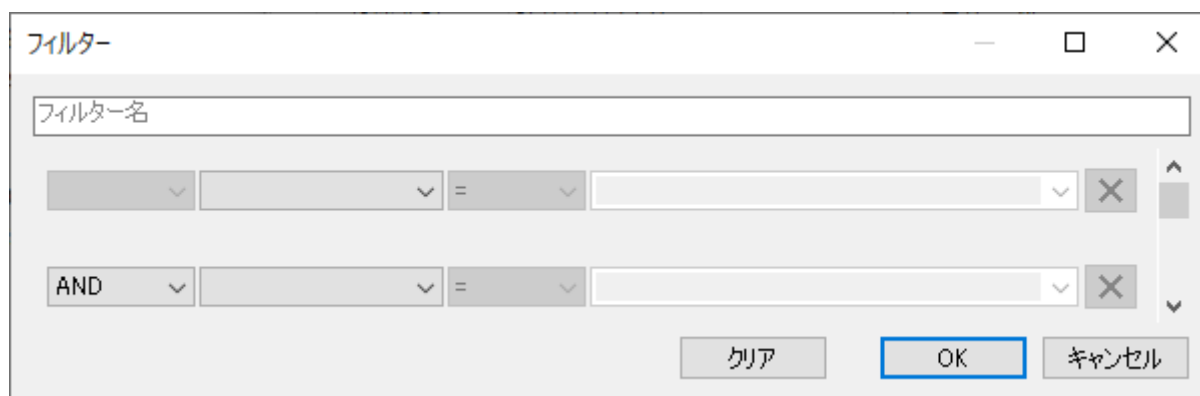
在庫計画タブまたは内部倉庫最適化タブまたは物流センター タブまたはレポートタブにて、カスタムレポートを作成できます。

次の手順に従い、フィルターダイアログを開きます。:

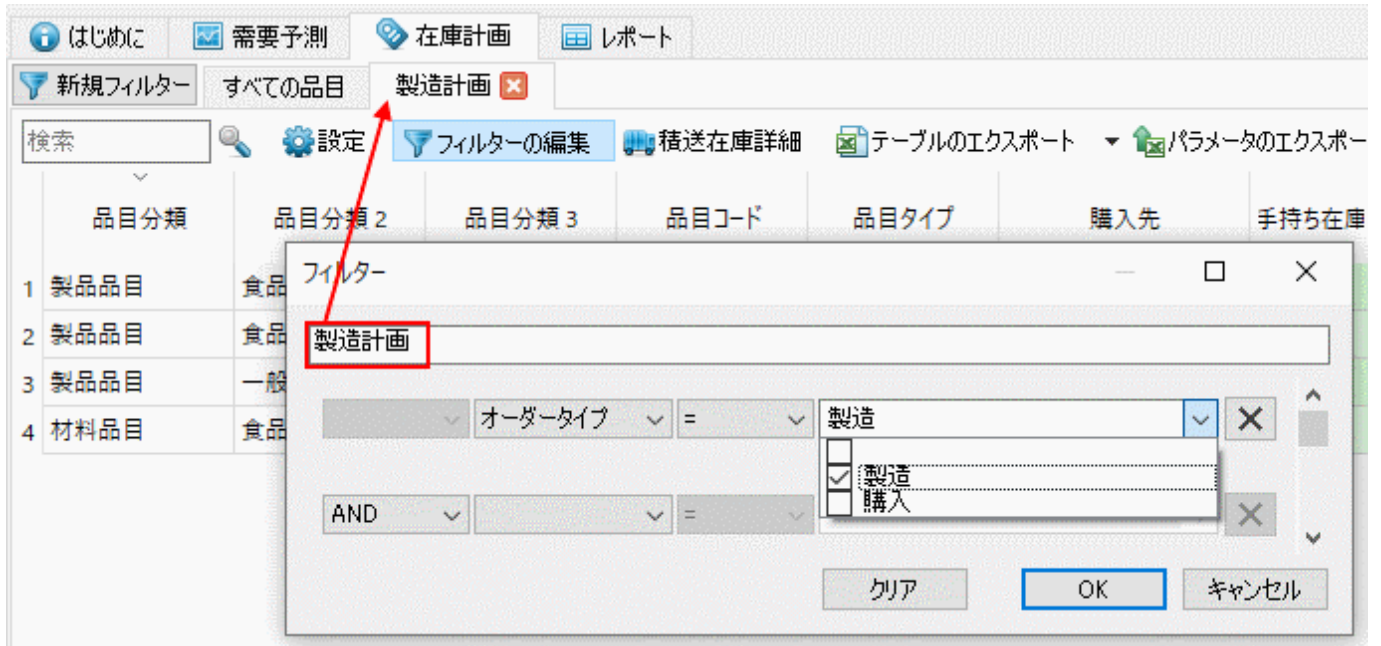
1. 上記で説明したタブを1つ選択します。
2. **すべての品目** タブの一番左にある**新規フィルター** ボタンをクリックします(下記の図を参照)。



ダイアログの説明



- ダイアログの最上位にあるテキストフィールドは、フィルターの名前、またはレポートの名前として利用されます。この名前は、新規作成されたタブのタイトルとして表示されます(下記の図を参照)。



- テキストフィールド以下のコントロール行から、**フィルター式**を作成します。
- クリアボタンは、フィルター式をクリアします。

フィルター式

フィルターまたはフィルター式は、基本式と構造演算子で構成されます。次が例です。:

(A OR B) AND C

ここで、

- AとBとC - 真または偽になりえる基本式です。
- 論理演算子であるORとANDと丸括弧“(”, “)” - 構造演算子は式を構成します¹⁾

次に、基本式は次の文法に従います。:

<列名><関係演算子><値>

下記の図は、**フィルター**ダイアログの上記の部分を紹介します。

フィルター

テストフィルター

基本式 品目タイプ = 製品

OR 購入先 = 1125

構造演算子 列 関係演算子 値

() AND () 品目分類 2 = 一般商品.食品/飲料

AND 手持ち在庫 > 300.00

AND =

AND =

クリア OK キャンセル

構造演算子

GMDH Streamlineのフィルターは、3つの構造演算子を実装します。**AND 演算子**と**OR 演算子**は、論理演算子です。残りの'()' AND (')' 演算子は、丸括弧演算子です。

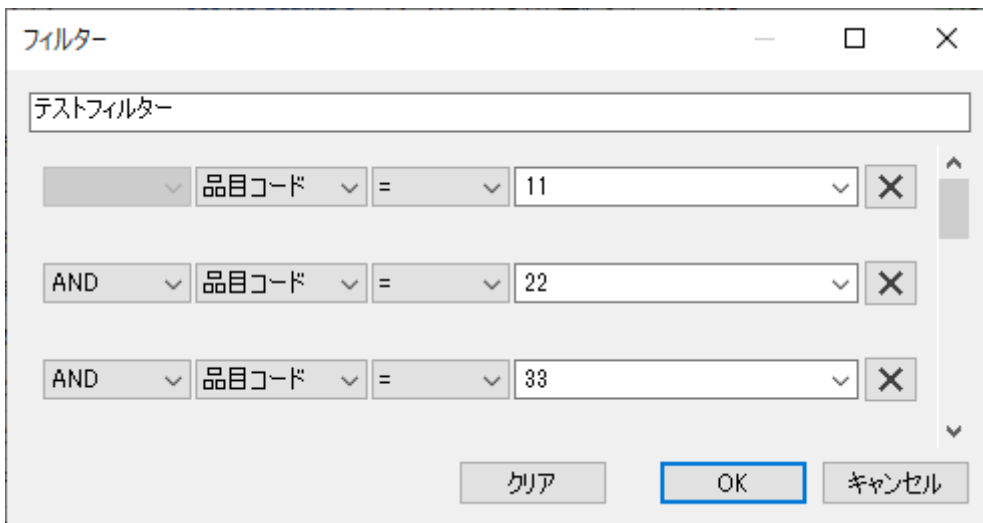
フィルター名 フィールドの下の各行にて、基本式を作成します。各行の右端にある**X**ボタンは、その行の条件をクリアします。

例を考えます。

AND 演算子

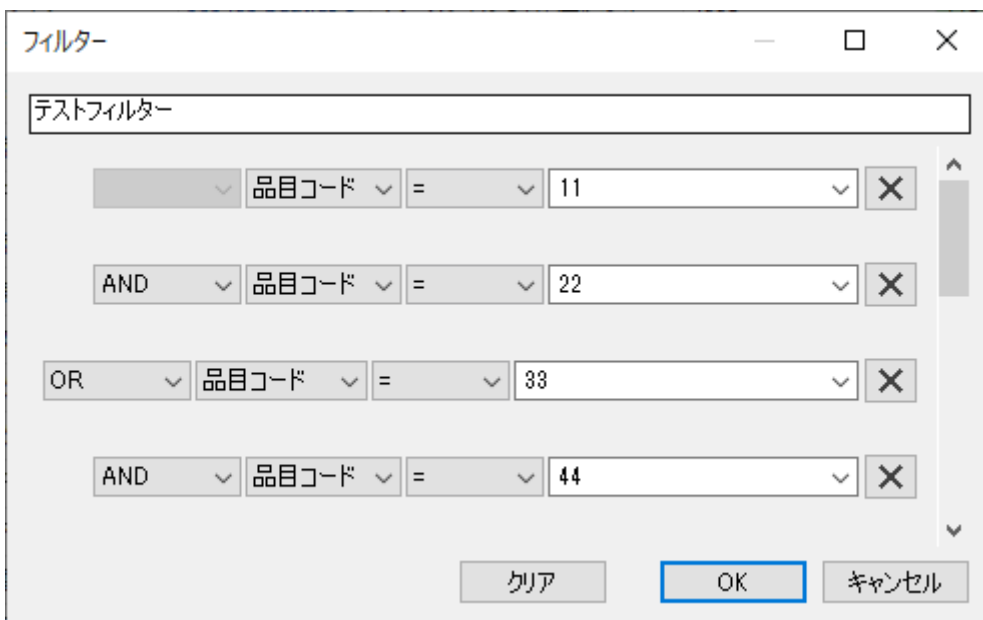
下記の図に表示されているフィルターは、次の式と同等です。:

品目コード = 11 AND 品目コード = 22 AND 品目コード = 33



OR 演算子

OR 演算子は常に**AND 演算子**よりも優先度が低くなります。下記の図の例を考えます。



次の式と同等です。:

品目コード = 11 AND 品目コード = 22 OR 品目コード = 33 AND 品目コード = 44

ご覧のようにGMDH Streamlineは、インデントを最初に適用された文をグループ化します。

(品目コード = 11 AND 品目コード = 22) OR (品目コード = 33 AND 品目コード = 44)

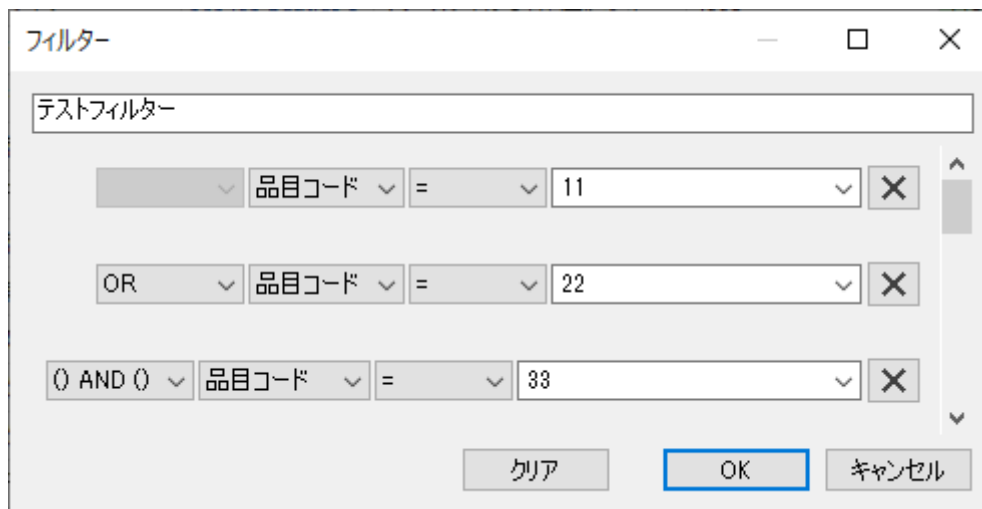
'()' 演算子

この丸括弧演算子は、**AND 演算子**と**OR 演算子**の適用順序を制御するために利用します。例えば、次の

式を作成する場合があります。

(品目コード = 11 OR 品目コード = 22) AND 品目コード = 33,

この場合、下記の図で表示されたフィルターの作成が必要です。



ただし、丸括弧演算子は1レベルでしか適用できません。つまり、ネストされた丸括弧(丸括弧の重ね)は現在では利用できません。例えば、次の式のフィルター条件は作成できません。

((A OR B) AND D) OR E.

基本式

基本式は、下記の文法があります。:

<列名><関係演算子><値>.

例:

品目タイプ = 材料

すべての品目レポートにある列は、どの列でも基本式に利用できます[GMDH Streamlineは、選択列で利用できるすべての値を表示します(下記の図を参照)。

列の種類(文字列または数値)に依存して、関係演算子の組み合わせは変わります(下記の図を参照)。

列の種類	演算子	説明
文字列	=	等しい
	≠	等しくない
	NULL	空白
	≠NULL	空白ではない
	含む	列の値が、設定された文字列を含む
	含まない	列の値が、設定された文字列を含まない
数値	=	等しい
	≠	等しくない
	<	未満
	≤	以下
	>	より大きい
	≥	以上
	NULL	空白
	≠NULL	空白ではない

文字列の列では、文の中でカンマ(,)を使い複数の値を設定できます。これは、論理演算子の1つであるOR 演算子として扱われます。次が例です。:

品目タイプ = 製品, 中間品目

値がカンマ(,)を含む場合、値を2重引用符""で囲みます。次が例です。:

説明 = Arm Boom,"Muesli box, 500 g".

[次へ: 積送在庫詳細ダイアログ](#)

[PDFダウンロード](#)

1)

翻訳者注釈: 演算の優先順位を決定します。数式の丸括弧と同じで、次の2式は答えが違います。(2 + 3) * 4、2 + (3 * 4)

From:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:filter-dialog>

Last update: **2020/09/28 12:38**

